

会 議 録

会 議 名	平成30年度第4回小金井市文化財保護審議会（第7期）		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	平成31年2月13日（水）午前10時から11時半		
開 催 場 所	前原暫定集会施設1階		
出 席 委 員	二宮委員（会長） 田中委員（副会長） 孤島委員 伊藤委員 椎名委員		
欠 席 委 員	鈴木委員		
事 務 局 員	関生涯学習課長 山崎文化財係長 高木主事（学芸員）		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	無
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
	<p>1 報 告</p> <p>(1) 国登録有形文化財（建造物）</p> <p>(2) 文化財センター事業について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 文化財講演会「江戸遺跡と小金井」</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 史跡めぐり「野川流域の遺跡をたずねて」</p> <p>(3) 市制施行60周年事業について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 記念展示「小金井の絵図」</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 記念講演会「絵図でたどる小金井の幕末明治」</p> <p>(4) 多摩郷土誌フェアについて</p> <p>(5) 玉川上水・小金井桜整備活用計画について</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 文化財説明板の設置について</p> <p>(2) 文化財センター季節展について</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 市史編さん資料の活用</p> <p>(2) 関野八幡神社のシダレザクラについて</p> <p>4 2019年度会議日程</p> <p style="padding-left: 20px;">第1回 2019年 5月15日（水）午前10時</p> <p style="padding-left: 20px;">第2回 2019年 8月 7日（水）午前10時</p> <p style="padding-left: 20px;">第3回 2019年11月 6日（水）午前10時</p> <p style="padding-left: 20px;">第4回 2020年 2月12日（水）午前10時</p> <p style="padding-left: 20px;">場所：市役所第二庁舎801会議室</p>		

5 配付資料

- |                         |      |
|-------------------------|------|
| (1) 国登録有形文化財登録（報道発表用資料） | 資料 1 |
| (2) 市主催等イベントについて        | 資料 2 |
| (3) 陸軍技術研究所境界石杭         | 資料 3 |
| (4) 第 3 1 回多摩郷土誌フェアについて |      |
| (5) 月刊こうみんかん 2 月号       |      |

## 会 議 結 果

関生涯学習課長 お忙しいところ、お集まりいただきまして、ありがとうございます。  
す。

ただいまから平成30年度第4回文化財保護審議会を開催いたします。本日は、鈴木委員より欠席のご連絡をいただいております。

本日もご審議のほど、皆さんよろしくお願ひいたします。

それでは、会議に先立ちまして、本日の配付物の確認をいたします。

山崎生涯学習係長 本日の配付物です。まず、会議資料として、資料1「旧中村研一  
邸主屋及び茶室（花侵庵）が先日国の登録有形文化財に登録予定と  
なった際の報道発表資料、両面刷りものです。資料2文化財講演会  
他、市主催の事業資料です。裏面が資料3「陸軍技術研究所境界石  
杭説明文(案)」になります。そして第31回多摩郷土誌フェアに  
ついてです。

配付物として、月刊こうみんかん2月号です。

不足がございましたら、お申し付けください。以上です。

関生涯学習課長 よろしいでしょうか。それではこの後の議事進行につきましては、  
二宮会長にお願いしたいと存じます。会長よろしくお願ひいたしま  
す。

二 宮 会 長 おはようございます。それでは、本日、報告5件、議題2件、そ  
の他2件と盛りだくさんですけれども、次第に従ってすすめさせて  
いただきたいと思います。

まず、報告1、国登録有形文化財（建造物）について、事務局か  
らお願ひいたします。

### 1 報 告

#### (1) 国登録有形文化財(建造物)について

高木主事(学芸員) 報告1について、報告いたします。前回の審議会の直後に、この  
件について動きがございました。資料1をご覧ください。両面ござ  
いまして、「旧中村研一邸主屋及び茶室（花侵庵）が市内初の国登  
録有形文化財に登録されます。」というタイトルで、11月16日  
付で報道機関にリリースした資料となっております。実は、この  
11月16日にですね、国の文化審議会、文化財分科会において、  
中村研一邸2棟について、国の登録有形文化財に登録するよう答申  
がされました。このたびの答申をうけて、その後、官報による  
告示を経て登録有形文化財となる運びとなっております。これまで、  
審議会におきましても、現地視察、また伊藤委員による調査、様々  
ご議論いただいた中で、答申をいただくまでにこぎつけました。改  
めまして、この資料を使ってご説明いたします。

まず1の登録内容、主屋と茶室、それぞれがカウントされ、合計  
2棟の扱いです。文化財としての正式名称は、旧中村研一邸主屋、  
もう1棟が旧中村研一邸茶室（花侵庵）となっております。それぞ

れ建設年代、主屋については昭和34年の建設、その後改修を経て現在に至ります。茶室については、昭和35年の建設。改修及び移動、曳き家がされております。登録基準、これは、国の方で基準を定めている中で、造形の規範となるものとしております。管理者は小金井市。部署でいいますと、コミュニティ文化課になります。その下に、※で説明がついております。国登録は11月16日の答申後の官報告示（見通し時期：平成31年3月頃）、小金井市に情報が入っているわけではございませんが、例年の登録の経過を参考にするとこれくらいの間隔を経て正式決定となるのではということです。

次に2 建造物の特徴等についてですが、国分寺崖線の南斜面にある洋画家・中村研一邸の旧宅です。建築家佐藤秀三の設計で、切り妻造り二階建ての主屋は伝統木造を基調に、客間兼居間と食堂を一空間で設けるなど現代的な空間構成を取り入れています。主屋西側の茶室花侵庵は旧主屋の古材を用い、素材の選択と後世に手腕をみせる佐藤の代表作の一つです。

報道発表向けに簡潔にまとめておりますが、申請の際には、伊藤委員に所見をいただきまして、分厚い申請書を作成して提出しております。洋画家の重鎮であった中村研一邸の旧宅であること、更に建物をてがけたのが著名な建築家の佐藤秀三であること、この二人の関係性については、伊藤委員、又は伊藤委員の勤務先の大学で指導されている研究生の方が非常に熱心に調査、研究されている中で分かってきております。

また、主屋に対して旧主屋という言葉が出てきておりますが、旧主屋というのは、中村研一が小金井に移り住む前から既にあった建物、他の方が建てた屋敷、それを最初は使っていたということです。また、使っていた上に一部アトリエに改造するなど、そういう経緯を経て、新しい主屋に新築させるわけです。

ただ、茶室に関しては、古い屋敷の古材を転用して建てているという特徴があります。

現在、敷地内には、はけの森美術館が隣接してございます。美術の森という名前もあるように、まさにアーティスティックな空間となつてございます。

主屋は、現在はけの森美術館の附属喫茶棟として活用しております。ですので、中には自由に入り、喫茶を利用することができます。ただ、茶室（花侵庵）は、施設の老朽化のため、現在は外観のみの公開となっております。基本的には、扉が閉まっている状態です。

最後に、主屋は今後も美術館附属喫茶棟として活用していき、茶室については、修復含め活用方法について検討していきます。これは、管理、所管するコミュニティ文化課としての考えも含まれております。

裏面に主屋と茶室の外観写真、一部は室内の写真も掲載しており

ます。これについては、委員の皆様にも確認していただいているところ  
です。以上が1についての報告となります。

二宮会長 ありがとうございます。だいぶ伊藤委員のご尽力があったよう  
ですが、伊藤委員、何か補足がございますか。

伊藤委員 はい。この間、コミュニティ文化課の方がおっしゃるには、登録  
後に茶室は修復ができるかもしれないということで、補助金の申請  
を含めた予算要求をされているということでした。皆さんがご覧に  
なった時には、壁が崩れていたかと思いますが、その部分も、今後  
修復する方向で動いているとのことでした。

二宮会長 ありがとうございます。他に何かございますか。

椎名委員 喫茶棟がありますが、登録後も喫茶棟として使用することには、  
文化財保護法上、問題はないのですか。

高木主事(学芸員) はい。登録有形文化財ですので、保存活用に主眼を置いておりま  
すので、いわゆる重要文化財のような規制の強いものではないです。

補足させていただきますと、今回は、外観がしっかり当時の状況  
に残っているかが重要で、もちろん内装も当時の状況は残ってはい  
ますが、今後もその形で、また別の形で活用はできます。

椎名委員 たてもの園の中には、このような国登録有形文化財はあるのです  
か。

高木主事(学芸員) 小金井市内では、建造物としては、ここが初めてです。

椎名委員 たてもの園の中にある建物には、そういうものに該当するものは  
あるのですか。

高木主事(学芸員) あります。東京都指定有形文化財が現在2棟が指定されておりま  
す。小金井市指定有形文化財が3棟あります。

椎名委員 国登録は、市内では今回が初めてなのですか。

高木主事(学芸員) はい。

椎名委員 そうなのですか。良かったですね。

二宮会長 見通しでは、3月末ということですが、もし正式に登録がされたら、  
何か市としては、お披露目とかがあるのでしょうか。

関生涯学習課長 そうですね。一定答申があった時点で素晴らしいことですが、登  
録となった場合は、市報等での市民の方への周知が当然必要となり  
ます。所管はコミュニティ文化課ですので、そちらと調整、連携す  
ることと、先ほど伊藤先生がおっしゃっていた修復ですね。それは  
それで、予算が措置されればということになるかと思いますが、今後  
は、活用、宣伝についてコミュニティ文化課と連携しながらどのよ  
うな形で市民の方に周知していくかは課題であると考えております  
ので、それについて検討していくことになるかと思いますが。

二宮会長 来年度の1回目にはそれについての話があるかもしれませんね。  
それでは、次の報告2 文化財センター事業について、お願いし  
ます。

## (2) 文化財センター事業について

ア 文化財講演会「江戸遺跡と小金井」

イ 史跡めぐり「野川流域の遺跡をたずねて」

高木主事(学芸員) 文化財講演会「江戸遺跡と小金井」からご報告します。結果につきましては、資料2に残しております。11月10日に講演しました。及川先生という、東京大学埋蔵文化財調査室にお勤めの方にご講演いただきました。東京大学の構内の発掘調査を長年されてきた方でして、東京大学の本郷キャンパスは、加賀藩大名屋敷がありましたので、発掘すれば必ずそのようなものが出てきます。そういう江戸時代の遺跡を長年研究されてきた方で、かつ市内にお住まいということで、是非都心部の江戸遺跡と小金井の遺跡を是非論じていただきたいとお願いしたところです。受講者は17人。基本的には小金井に残る江戸遺跡というところを非常に探っていただきました。おそらく初の試みだったかと思います。今までは縄文時代とか旧石器時代が中心で、非常に古い時代を扱ってきたところでしたが、現在の考古学は、古いものだけでなく、新しい時代についても活発でしたので、そのへんの最新の成果も踏まえながら、小金井を俯瞰していただきました。非常に盛況でした。

続いて史跡めぐり「野川流域の遺跡をたずねて」こちらは、11月17日、こちらは文化財係職員の私がコーディネーターという形で、15人の市民の方を連れて市内の西側地域、現在の貫井南町、前原町あたりの遺跡を見て回りました。経路は、小金井市役所から出発しまして、西側に新小金井街道のはけうえ遺跡、さらに西に進んで西に進んで貫井遺跡、そして坂を降りるとすぐに野川にぶつかります。野川を渡ると荒牧遺跡。野川周辺は非常に遺跡が多く分布している地域となっています。そういうところで、古い時代の遺跡や中世、近世の遺跡も紹介しながら、見て歩きました。ただ、私も感じたことでもあり、参加者からもご意見をいただいたのが、現地を歩いても実は基本的に遺跡は無いのです。あるのは説明板。そのへんが想像を逞しくしないと、遺跡は見えてこない。説明板も少し工夫しないといけないし、現地について遺跡を感じるしかけも必要なのではないかと、直接意見をいただきましたので、私としては、非常に有意義な事業だったかと思います。小金井市内には遺跡は多く分布していますので、さすがに1日に全部を見るのは困難です。ですので、こういう形で地域を区切りながら、今後も歩いてみたいと思った次第です。

田中委員 今回は、北側の陸軍の境界石杭にはいかなかったのですね。

高木主事(学芸員) はい。今後の史跡めぐりで地域性を見つけながらルート選びを考えていきたいと思います。

二宮会長 ご質問等ありますか。また、後ほど、お気づきになった際にでもご質問いただければと思います。それでは、続けて報告をお願いします。報告(3) お願いします。

(3) 市制施行60周年事業について

ア 記念展示「小金井の絵図」

イ 記念講演会「絵図でたどる小金井の幕末明治」

高木主事(学芸員) 小金井市が市として誕生して、今年度で60年になりますので、市長部局、教育委員会を問わず、これを記念した事業が全庁的に行われました。特に生涯学習課でも、文化財係は多く実施してきました。特に今回目玉としましたのが、周年事業をきっかけに、明治時代初期の大きな村絵図の修復を進めて、完了し、更にそれを複製するという、その結果をまず、ア記念展示「小金井の絵図」という形で、3点の村絵図を早速公開いたしました。その結果を資料2「小金井の絵図」にお示ししました。期間は11月1日からおよそ2か月間、来館者総数は665人となっております。前回の会議のときに委員の皆さんに直接現物をご覧いただいたものです。

ただ村絵図を展示するだけでなく、文化財センター担当の学芸員が現在の場所と明治時代の場所を比較できるように、横にパネルを設置して、写真や図、説明を作成してあります。こちらも好評でした。村絵図、古地図に興味、関心を持たれる方がいらして、非常に熱心に見て、学芸員に説明を求めている姿も数多く見受けられました。実物でなく、複製品のいいところは、傷まない、触れることができる点かと思います。高齢の方が、地図を近くで触って、自分の先祖の名前の書かれた地図の自宅があった近くに何があったかを興味深くご覧になっていらっしゃいました。

それに続きまして、イ記念講演会「絵図でたどる小金井の幕末明治」。実は市制施行60年と同時に、明治元年から150年、東京になってから150年の一連の関連事業として進めてきたところです。明治、幕末明治にスポットを当てられた年でした。その波に小金井も乗りまして、このようなテーマで講演会を開催しました。講師は、どちらも市史編さんに係る専門家の先生です。明治時代の話をしていただきました。ほぼ満席状態で、先生の話に聞き入っていました。写真がみにくいのですが、真ん中より左側に白っぽいものが、複製の村絵図3点です。展示して終わりではなく、こういう形で持ち運べるのが利点でして、まさにそういうことを目的に今回、複製品を作ってください。その第一段としてこのような形で文化財センターから移動し、こういう形で活用しました。今後も利活用を図ってまいりたいと思っています。以上となります。

伊藤委員 前回の審議会を欠席しましたので、個人的に文化財センターでの企画展に行かせていただき、非常に興味深く拝見しました。学芸員の方に何か企画展のパンフレットのようなものはないのかと伺ったところ、そのような予算は無いのでできませんとのことでした。

さっきおっしゃっていたように、古地図とか興味を持っている方は東京都でも多くいらっしゃると思います。せっかくだら企画展でしたら、パンフレットとか、この絵図そのものを掲載して、見る

機会を作って広めていただけるようなことを考えていただけたらと思いました。予算的に厳しい面もあるかもしれませんが、複製も作ってあるので、デジタル画像を利用して何か作成していくことが出来ることもあろうかと思えます。

ストーリーも結構面白くて、小金井のまちの様子が推察されます。私も都市の歴史にも関わっているものですから、非常に興味深く拝見したので、是非考えていただきたいです。

高木主事(学芸員) 自分達でできる部分については、簡単な冊子など、担当学芸員とも相談して、私も必要だと思いますので、ご覧になった方が持ち帰れるものを作る方向で検討していきたいと思えます。

二宮会長 前回に鈴木委員からご指摘のあった古地図の現物の展示については、どうなりましたか。

高木主事(学芸員) 修復した現物については、丁寧に保管している状態です。鈴木委員からのご指摘、現物の展示を検討してくれという件については、内部でも検討したのですが、結論から言うと、難しいということでした。地図を広げる空間の確保が難しい点や管理する体制ができていない等の理由で今回は見送ることになりました。今後検討はしたいと思えます。

二宮会長 今後見たいと希望する方もいらっしゃるかもしれないので、その場合に対応できるよう検討していただきたいと思えます。

た、見学にきた団体というのはどういった団体でしょうか。

高木主事(学芸員) ウォーキングに来た団体が立ち寄ったと聞いています。この見学を目的にこちらを通ったのかは分かりませんが。

入り口に記帳するものがありまして、個人か団体か、人数などを書いていただくだけなので、正確な団体名は分かりません。

孤島委員 他の地域の村絵図もあるのですか。

高木主事(学芸員) 様々な時代の絵図等がございます。

孤島委員 どのような絵図があるかについて、リスト化はされているのでしょうか。

高木主事(学芸員) このあたりにつきましては、市史編さん事業の中で、古文書調査の中で古地図のリスト化を行ってきています。

二宮会長 まだ議題がございますので、続けていきたいと思えます。

次に第31回多摩郷土市フェアについて、お願いします。

#### (4) 第31回多摩郷土誌フェアについて

山崎文化財係長 第31回多摩郷土誌フェアについて、ご報告いたします。

毎年こちらには、小金井市も参加しておりますので、ご報告させていただきます。こちらは、東京都市社会教育課長会文化財部会の主催で毎年実施しております。多摩地区の教育委員会等発行の郷土誌等の出版物を一堂に集めて展示することにより、多くの人々に紹介し、希望者には有料頒布することにより普及を図ることを目的に実施しております。今年度は1月19日(土)20日(日)の二日間



立川市の女性センターアタイム1階センターギャラリーで開催いたしました。販売実績は、昨年度は35冊、17,600円のところ、今年度は77冊、28,300円という結果でした。参加自治体は、24市1町でございました。以上です。

二宮会長

ご質問がございましたらお願いします。

昨年の2倍近い売り上げだったのですね。名勝小金井桜のクリアファイルの販売は今年からですか。

山崎文化財係長

はい。10月から販売しております。

二宮会長

それでは、次に玉川上水・小金井桜整備活用計画について、お願いします。

#### (5) 玉川上水・小金井桜整備活用計画について

高木主事(学芸員)

大きく二つに分けてご報告いたします。一つは計画に関してのご報告、もう1点は、整備計画に関する市民団体からの反応についてです。

まずは、計画についてですが、今年度はですね、小金井橋、新小金井橋区間の整備の第二期となります。東京都と連携いたしまして、この区間内にヤマザクラの苗木を新たに20本植樹することとしています。その植樹の時期につきましては、2月、今月下旬を予定しております。なお、平成31年度、来年度につきましては、この小金井橋、新小金井橋区間の最終年度として、整備を予定しております。また、今後の名勝小金井(サクラ)整備計画につきましては、再来年度、西暦2020年度以降も継続して整備を推進していく考えを持っております。具体的なところは、まだ検討中です。

もう1点についてですが、整備事業を進めるにあたり、市民団体や市民の方からご意見、ご要望を3点ほど頂戴しておりますので、それぞれ概要をご説明いたします。

1件目ですが、小金井桜の再生復活を推進する上でのご意見です。いわゆる肯定派の意見ですが、整備事業で植樹された苗木の一部がなんらかの影響で枯れたものがございます。その点について、新たな苗木への植え替えを要望するものです。その他ヤマザクラがどうか気になるサクラが混じっているもののご指摘がありまして、それに対する対応を求めておられます。

2件目、生物多様性の重要性を考慮した事業の進め方を提言されておられます。小金井市及び東京都が文化財保護のために行いました樹木の伐採に対してのご要望でございます。伐採したケヤキなどの切り株からは、萌芽といいまして、新しい芽が勢いよく出ております。その萌芽によって景観の悪化を招いていることを心配されておられます。そのため、計画的に伐採後も萌芽の間引きや剪定を行っていくことが重要であると述べられています。

3件目、現地に植樹するヤマザクラの苗木の育成方法に対する考え方が確認されております。いわゆるヤマザクラの苗木の育成方

法。桜並木が文化財指定されたことの一つに、多様なヤマザクラが玉川上水に集積していることがあげられます。これが名勝小金井（サクラ）の文化財指定の一つの理由です。多様なヤマザクラが玉川上水の堤にあると。ここから、由来の確かなヤマザクラを植樹すること。また、その由来の確かなヤマザクラを育成することについて、小金井市は適切に対応して欲しい。とのご意見がだされております。

いずれも名勝小金井（サクラ）の保護や復活の考えに一定の同調をいただいた上での貴重なご意見と捉えております。担当といたしましては、今後の施策の参考にさせていただければと思っております。

以上が小金井桜整備活用計画と市民団体からのご意見についての報告となります。

二 宮 会 長

ありがとうございます。整備活用計画の内容と市民団体からのご意見についての概略的なご報告がございました。要望等について、なかなか理解しにくい部分もあるかとは思いますが、これについては、いろいろな形で話を進めていかなければいけないと思っております。本日は報告という形ですが、ご質問等はございますか。よろしいでしょうか。

委 員

（ 承 認 ）

二 宮 会 長

それでは、議題の方に進めていきたいと思っております。まずは文化財説明板の設置について、お願いします。

## 2 議 題

### (1) 文化財説明板の設置について

高木主事(学芸員)

資料3をご覧ください。今年度の文化財説明板につきましては、8月に登録いたしました陸軍境界石杭になります。

この説明板の内容については、事前に審議会委員の皆様以案文をお送りいたしまして、確認をお願いしておりました。皆様から寄せられた修正のご意見を反映させたものを資料3としてお示ししてございます。説明文の文案を読みあげます。

「陸軍技術研究所境界石杭 市登録有形文化財 登録 平成30年8月現在の貫井北町・桜町・本町一帯は、昭和15年（1940）から昭和17年にかけて、広大な農地を陸軍技術研究所として陸軍に買収されました。

買収用地は万年堀で囲われ、第一（現市営競技場付近）、第二（現市立本町小学校付近）、第三（東京学芸大学構内東部）、第五（現情報通信研究機構付近）、第七（現東京サレジオ学園付近）、第八（現東京学芸大学中心部）の六つの技術研究所が都心部から移転していきましたが、まもなく終戦を迎えました。戦後は国有地となり、今日言う機関、国家公務員住宅、都住宅供給公社住宅等ができ、一部は民間に払い下げられ住宅地に変わりました。

境界石杭は、側面に「陸軍」と刻み、陸軍用地の境界の各所に設置されたものです。小金井市文化財センター所蔵の同様の境界石杭が全長1メートルであることから、石杭の大半は地下に埋設され、地上に露出しているのは一部分とみられます。この境界石杭は戦争遺跡である旧陸軍技術研究所の存在を現地に示す遺物として貴重です。

このような形にまとめてあります。ご意見がいただければと思います。

二宮会長 事前にお送りいただいたものに委員の皆さんからのご意見をまとめた形となっています。何かご意見、ご質問がございましたらお願いしたいと思います。

田中委員 目黒区では、屋内での展示には限界があったので、石碑を集めて屋外展示をしている場所があります。その中に境界石杭も含まれています。一つの案ではないかと思ひまして、参考に実例が出ている冊子を持ってきました。閉校になった中学校の施設を利用したものです。もちろん目黒区内には軍用地もありましたし、石杭の埋まったものも現地にあるのですが、持ち込まれたものが野外展示場にある例です。

(田中委員の冊子のコピーを事務局が配付し、委員間で回覧。)

委員 このような展示方法もあるのですね。ありがとうございました。

二宮会長 平成30年8月に登録となっておりますが、この件は追加登録でしたね。その件を明記しておく必要があるのではないかと思います。

高木主事(学芸員) そうですね。二基あることが分かるようにですね。

二宮会長 小金井文化財センター所蔵の分が以前登録したものですよね。そことの関連が分かるようにしていただけると。

高木主事(学芸員) 考えてみます。

椎名委員 場所はどこに設置する予定ですか。

高木主事(学芸員) 視察の際に委員の皆様にご覧いただいた現地の道路ですね。隣の民有地ではなくて、道路の一番端になります。今考えていますのは、石杭の脇を考えています。

石杭を跨いで設置という案もあったのですが、境界杭が動いてしまう可能性もあるので、少し離して、測量が動かないくらいにして、やはり並べる形に隣に。道路の幅員としては、比較的広い方ですので、ぶつからないところ、歩行者の邪魔にならない場所を選ぶ予定です。近くに交通標識があります。

椎名委員 まず説明板を見て、その付近を捜して見つかる場所にありますが、いいと思います。この説明板がないと、誰も気がつきませんよね。

二宮会長 少し高くなっているところですから、見やすいと思います。

孤島委員 追加登録としても別に問題ないのですか。

高木主事(学芸員) はい。何が最初の登録でこちらが追加登録であることが分かるよ

うに工夫したいと思います。

田中委員 　　いつ頃、最初の登録をしたのでしょうか。私も在任していたと思うのですが、

高木主事(学芸員) 　平成23年ですね。合計十数件を一度に登録しましたので、記憶に残りづらかったものと思います。

田中委員 　　そうだったのですね。

二宮会長 　　23年に登録したものは、文化財センターで常時見られるのでしょうか。

高木主事(学芸員) 　　はい。

椎名委員 　　センターには常時展示されているのですね。

高木主事(学芸員) 　　はい。

椎名委員 　　センター蔵に加えて文化財センターで常時見られますと書いておいてもよろしいのではないのでしょうか。

二宮会長 　　指定してから、最近「陸軍」の字が薄くなってきた気がするのですが。そのことも来年考えていかなければならないのでしょうか。

椎名委員 　　御影石ですよ。風化はしますね。

田中委員 　　明治時代のものでも残っていますからね。これは昭和ですから。

椎名委員 　　一番怖いのは、火事ですね。ボロボロになってしまいますので。

二宮会長 　　最後のところは、高木さんにお任せしてもよろしいですね。次の審議会前に設置を終えなければなりませんので。

委員 　　(了承)

高木主事(学芸員) 　　分かりました。

## (2) 文化財センター季節展について

高木主事(学芸員) 　春の季節展について、小金井桜についての企画展示を行います。3月26日から5月26日の2か月間行います。その中で、文化財センターで所蔵してきたコレクションを展示する形になります。

　　時代時代の小金井桜の歴史、当時の花見文化が伺い知ることができるようになっています。何かあれば、展示に反映できることは考えていきたいと思っています。

二宮会長 　　ご質問があればお願いいたします。

椎名委員 　　浮世絵の関係が多いとは思いますが、そのものがあるのか、データがあるのか数量はどのくらいあるのか。目録などがあるのですか。目録が見たいわけではないのですが。

高木主事(学芸員) 　現物資料を保存しております。錦絵、浮世絵自体はそんなに多くはないのですが、写真は数百点あります。明治に入ってから写真、絵葉書ブームがあり、観光地として、名勝小金井(サクラ)が有名だということで、作成される数も多く、その結果、残っている数も多いです。

　　明確な数字がだせなくて申し訳ございません。相当数小金井は持っています。おそらく他の自治体よりは圧倒的に小金井市は多く持っていると思われます。

椎名委員 三好先生が作って、他の人に描かせたものは、現物をお持ちですか。

高木主事(学芸員) はい。石版画も含めて一式ございます。そういったもののデータ化を現在進めております。

椎名委員 多様なヤマザクラという話があったのですが、あれで分類するしかないのですよね。それ以外に、あそこまで掘り下げて分類したものはないのですよね。

多様なものを実現させるためには、あれを突き詰めていく以外ないわけですよね。あれをどうやって現行のものと照合していくかという課題があるのですよね。具体的に言うとね。

ヨシノは、どちらかという種のバラエティは限られています。小金井(サクラ)の場合は、ヤマザクラの分布自体が、江戸時代は今ほど広範囲ではなかった。現在、広範囲にあるのは、植えたからなのですね。当時は自然のものを山からおろしてきたのは、関東から南なのですね。北の方は無いのです。いろいろな所にいろいろなヤマザクラがあったはずなのです。それを集められたのは、江戸だからなのです。大名屋敷を出て、各地自分のところの上屋敷、下屋敷に桜を持ってきたのですね。それを小金井に寄進したのか分かりませんが、植えたのですね。それゆえバラエティに富んでいる。

多様性というのはそういうことなのですね。

その多様性を証明したのが、三好先生が描いた石版画なのですね。現在、異なるそれを探し出して、その地方にあるやつを持ってきて多様性を確保するという遠大な構想があれば。気が遠くなるような話ですが。

それと、もう一つやっかいなのは、桜は他の桜と交雑してしまうことです。交雑して雑種ができてしまう。それが全国的にすごく多いのですよね。

田中委員 高尾山に確か桜の関連の試験場がありましたよね。あそこにはサクラはどれくらいあったのでしょうか。

椎名委員 相当ありますが、あそこでは、ヤマザクラのみを追いかけているわけではないのです。桜全部ですね。多摩の自然科学園、あそこは昔の林業試験場でしたからね。農水関係と皇室関係が合わさって林業試験場だったのです。その伝統があるかと思いますが。

いろいろなご意見が団体からきていますけれども、目指すところがかかなり高いところにあることをきちんと説明していくと何人かは理解してくれると思います。

資料の蓄積というのは、おそらく小金井市しかできないのではないかと思います。東京都よりは先んじて資料を集めていらっしゃるから。わたくしどももそういうことに携わってはおりますが。

三好先生のお調べになったものを現実にこれがそうだと、データとして残していきたいと思います。

田中委員 林業試験場にいた方の中には、かなりサクラにも詳しい人がいる

ようですね。筑波に移転したようですが。

椎名委員 筑波の森林総研ですね。それと科学博物館の実験林が筑波にもあります。今はDNA検査が主流といってもですね、一つ一つの新種のDNA調査、例えばソメイヨシノの起源が何かという議論の方が先行していますね。

小金井（サクラ）にとってみれば、多様なヤマザクラの証明も、おそらくDNA調査の力を借りなければならない。その力をもっているのは、やはり森林総研ですね。高尾にあるのは森林総研の支社みたいなものですね。

だいぶ前に全体調査をやりましたよね。調査結果が冊子になっておりました。確か井出先生がおやりになった。その結果では、56%がヤマザクラで、あと残りが出生不明だそうですね。それによると56%はまだ残っているわけですから、それを細かくDNA調査したときに、分類できるか。今あるものもですね。

昔の小金井（サクラ）とは、異なる多様な、いろいろ違うのですよね、そこを多様な桜といっているわけです。葉の色が違ったり、花の大きさ、密度とか、いろいろありますが。

孤島委員 DNA検査は、コスト的にはどうなのですか。

椎名委員 研究者でないとできません。コストもかかりますし。

お寺とか神社にもありますよね。小金井（サクラ）が。

DNA的に同じだと証明できれば、最低限今あるものと少なくとも同じだということが分かれば、小金井（サクラ）の系統を引いているのだということがいえますよね。

例えば、江戸東京たても園の玄関口の両脇の桜もヤマザクラといわれています。近くのお寺とか神社にもあるかと思います。

西東京の方にもあるかと思います。下田家といった名主さんのお宅とか、いろいろいわれていますよね。

二宮会長 小金井ならではですね。

他に議題にあげて欲しいものはありますか。

それでは、その他、市史編さん資料の活用について、課長、お願いします。

### 3 その他

#### (1) 市史編さん資料の活用

関生涯学習課長 文化財保護と関連する事業で、市史編さん資料の活用についての一定事務局としての考え方を話しさせていただきたいと思います。

市制施行60周年である今年度が市史編さんの集大成でございます。小金井市史通史編の刊行を3月に予定しております。二宮会長にもご協力いただきました。ありがとうございます。

この市史編さん事業は、この通史編の刊行を持って一つの役割を果たすこととなります。平成20年度から期間を区切って刊行してまいりまして、今年度の通史編でまず一定の区切りかと思っております。

います。

この事業の中で調査、収集されました膨大な資料につきましては、市の歴史を考える上で、今後の市の将来を見据えた中では、大切な役割があるものでございます。

今後も継続していき、資料の保存や調査のみならず、文化財保護事業と連携していきながら、より一層の活用を図っていきたいと考えてございます。

さらには、市史編さん資料の文化財指定も、もしできれば、検討していきたいと考えております。

本として刊行するまでに集めました膨大な資料を今後どのような形で活用していくか、また、更に今後違う形で文化財事業について発信していきたいと考えております。

事務局としての考えを述べさせていただきました。

以上でございます。

二 宮 会 長

市史編さん、通史編の刊行に関わりまして、課長からご説明がございました。ご質問とかご意見とかございますか。大変立派な本ができあがります。文化財に関わる部分ではかなり大きな期待があります。この委員会、かなり関係するかと思います。今後も続けて活用していきたいと思います。

それでは、(2) 関野八幡神社のシダレザクラについて、お願いします。

## (2) 関野八幡神社のシダレザクラについて

高木主事(学芸員)

今後の議題になり得るものとして、提示させていただきます。

小金井市関野町にございます関野八幡神社、玉川上水のすぐ近くにある神社です。この境内に大きなシダレザクラがございました。神社の氏子の方からご相談がありました。境内にある大きなシダレザクラが市の天然記念物に値するかどうかの確認をして欲しいとの相談でした。樹木に関しましては、専門家である椎名先生のご意見も賜りながら、今後調査をすすめていく考えでございます。

指定文化財にふさわしいものであれば、審議会の視察も含めて、委員の皆様に見ていただく機会を設けられるよう調整してまいりたいと思います。今後の椎名先生との動きの中で、また、ご報告してまいりたいと思います。

(シダレザクラの写真のコピーを配布。)

委 員

すごいですね。

田 中 委 員

次の5月の審議会まで咲いているのでしょうか。

椎 名 委 員

エドヒガン系ですから、3月の終わりから4月のはじめですね。

田 中 委 員

最近は、咲くのが早いですよね。

椎 名 委 員

そうですね。

青梅の梅岩寺のもはすごいですね。斜面にたっているの、見栄えの条件もいいのです。枝がいくらでも下に下がります。シダレザ

クラは枝の長さがポイントですから。  
 田中委員 小田原にも有名なものがありますね。  
 椎名委員 電車から見えるものですよね。  
 エドヒガン系は長生きですね。シダレはその変種なのです。  
 最近、野川沿いのシダレザクラは小金井市ですか。弱っていると  
 聞いています。あれは天然記念物ですか。

高木主事(学芸員) 違います。  
 椎名委員 写真で見た感じでは、立派ですね。  
 高木主事(学芸員) 今後、開花時期に合わせて、椎名先生とご相談させていただきま  
 す。

二宮会長 我々は見られないので、資料を残しておいてください。立ち位置  
 等の情報なども残していただければと思います。事務局にお願いし  
 ます。  
 ほかによろしいでしょうか。

孤島委員 今後の議題になりうるような案件として、お話しさせていただき  
 たいのですが、「浴恩館と青年館」という本を市で刊行してしま  
 すが、あの中で取り上げられている田澤義鋪という浴恩館で青年団の  
 指導を熱心にされた方がいらっしゃいます。この方は、教育者とし  
 て非常に優れた方で、佐賀出身ですが、佐賀には、田澤義鋪記念館  
 があります。下村湖人も有名ですが、この方は湖人を連れてきた人  
 で、全国的に青年団の指導をされていますので、せめて、浴恩館に  
 説明板を設置できないかという思いが私にはあります。青年達に指  
 導する中で、例えば昭和11年頃、軍部が段々力を増してきた中で  
 、指示待ち的な考えで全国から集まってきた青年達に対して、これ  
 からやることを自分で考え、自分で決めることを青年達に求めた方  
 でした。それによって浴恩館の意義も増してくるのではと思います。

二宮会長 次年度、講演会等も含めて検討していったらどうかと思います。  
 椎名委員 日本青年館、千駄ヶ谷にありますよね。あそこにはそういう資料  
 はないのでしょうか。

高木主事(学芸員) 本家は日本青年館です。基本的には資料はそこにあるかと思いま  
 す。確か日本青年館の理事長でもあったかと思います。小金井にお  
 ける田澤義鋪については、研究する必要があると思います。

椎名委員 浴恩館を築立った方が地方で活躍された例もあるのでしようし、  
 研究者はいないのですか。もったいないですね。

田中委員 青年団を最後に出た方はまだ、ご存命なのですかね。  
 高木主事(学芸員) 青年団講習所としては、戦時中役割が変わってきましたね。  
 椎名委員 北区の西ヶ原は、農業講習所がありましたよね。皆さんそこを築  
 立って地方にいったら活躍されたのですよね。同じような形ではな  
 いでしょうか。  
 現在の天皇陛下が小金井に疎開にいらした時代がありますよね、  
 その時代に光をあてると、何か展開があるかもしれませんね。その  
 当時の資料はないのでしょうか。



高木主事(学芸員) 学習院大学の資料館にはあると思います。

椎名委員 現在の天皇が皇太子時代に小金井の地を選んで疎開された理由、小金井（サクラ）との関連や小金井はいいところだと思う理由があるのではないかと思うのですが。

二宮会長 教育的な情報など、学芸大学の方でも調べてみたいと思います。それでは、時間もおしてきましたので、来年度の日程について、係長からお願いいたします。

## 2 次回の会議日程

山崎文化財係長 来年度の会議日程(案)を開催通知と一緒に事前に送付させていただきました。来年度も、今年度と同様に水曜日の午前中の設定で会議室を予約してございます。現時点では、委員の皆様からはご都合が悪い日のご連絡はいただいておりますが、この会議の場で、この日程案でよろしいか確認させていただきたいのですが。

二宮会長 水曜日の午前中ということではよろしいでしょうか。まだ年間の予定がこれからの方もいらっしゃるかもしれませんが、開催日近くなって、参加人数が揃わない場合は調整いたしますので、目安ということで、よろしいですか。

委員 (承認)

二宮会長 それでは、次回は、2019年5月15日（水）午前10時からとなりますので、よろしくお願いいたします。

本日の会議は、大変中身が濃い会議だったかと思いますが、これで終わりとさせていただきたいと思います。

どうもありがとうございました。